

【令和4年2月定例県議会他】より

河野としのり レポート

河野としのり県議

知事
各部執行部
教育長
県警本部長
に熱く訴える!!



答弁する熊谷俊人知事



本会議で諸問題を具体的に訴える河野としのり県議



富塚昌子教育長



教育長と対談する河野としのり県議 (教育長室にて)

無差別殺傷事件への対策について

河野としのり県議

(議会代表質問 令和4年2月22日)
小田急線・京王線・新幹線の事件、大阪クリニック放火殺人・愛知中学生刺殺事件・東大前受験生刺傷事件、など様々な自己否定に基づく自殺の変形としての無差別殺傷事件が治まることなく多発している。どのような育ち方を、どうという経緯で、どういう衝動が働くのか、勝ち組、負け組、自分は無価値というのはなぜ生まれるのか、又、異性に振られて、それが発火点となって、「非モテ」と自己限定し、他者を憎み、自暴自棄になって事件を起こすのはどうしてか、勿論一口に原因とか対策とかは表す事は出来ませんが、伺います。一連の事件、未遂事件に対し、県教育委員会では学校教育だけでなく家庭教育も含めどのように認識し、どのような対策を行っているか。

富塚昌子教育長

命の重みを考えることなく無差別に人を殺傷する痛ましい事件が相次いで発生していることは大変残念で、県教育委員会では、『いのち』のつながりと輝きを主題に幼稚園から高等学校までを通じた道徳教育を推進しています。また、児童生徒が抱える悩みや不安、家庭における課題等について、教員やスクールカウンセラー等が個人面談などを通じて早期の把握に努め、心のケア等の支援しています。併せて、学校だけでなく家庭にお

いても、他者を尊重し合う人間関係を築くことや社会のルールを守ることの大切さについて話し合い、意識啓発を進めています。

河野としのり県議

(教育長室にて 令和4年3月2日)
普段はごく普通で良い子が、突然刺殺事件、死傷事件を起こす。勿論そこに至った人間関係、親や学校の子育て、家庭環境など、それらの原因・影響は星座の如くに無数にあると思いますが、他県では、すぐ学校教育の問題とか、公教育の責任として結論を出す所もありますが、もっと広く深く家庭環境、家庭の子育て、人間関係等事件の原因を掘り下げ今後の対策を考えていかねばと思えますが。

富塚昌子教育長

今家庭と学校と地域の連携の重要性がますます高まる中で、「コミュニティスクールなどの取り組みを進めています。地域や家庭の協力を得るためには、学校のことをよく理解していただく必要があります。県教委としても、学校や市町村教育委員会とともに支援体制を創って行かねばならないと思います。

河野としのり県議

コロナ禍のストレス蓄積もあると思いますが、これからの子どもたちが、自己否定による自殺、又、他者へ責任転嫁し拡大自殺を繰り返す事件が起き続けることは、国の今迄の様な価値観、通念、人々の意識が崩れて行くのではないかと、言っ危険感があります。





答弁する田中俊恵警察本部長

憂すべき事態であり、少し表現が過ぎるかもしれませんが、**国難ともいえることではないかと**感じます。子どもたちが自他の命の重みをきちんと受け止め、心健やかに成長できるよう道徳教育や、子どもたちの心のケア、家庭との連携強化に努めてまいります。

河野としのり県議

一連の事件、未遂事件に対し、県警はどのような対策を考えているのか。

田中俊恵警察本部長

昨年は、都内において走行中の電車内における殺人未遂事件が2件発生したほか、12月には大阪府において、25名の方が亡くなる放火殺人事件が発生するなど、無差別に多くの人を殺傷する大変痛ましい事件が相次ぎ、本年に入っても、都内の大学入学共通テスト会場前において刺傷事件が発生し厳しい状況が続いております。県警では多くの鉄道事業者と合同訓練を行い、駅の警戒を担当する**警察官と鉄道事業者の対処能力の向上**を図ったほか、駅構内における巡回や立哨警戒、**警察官による電車内での警戒活動を強化**しております。また、大規模な集客施設等についても無差別殺傷事件を想定した事業者との合同訓練や関係者に対する対応要領の指導、警察官による警戒の強化など、**被害の未然防止や、事件発生時における被害の拡大防止に努めて**おります。今後とも、公共交通機関等における警戒活動を強

化して県民の安全・安心の確保に努めます。

河野としのり県議

(総合企画 常任委員会にて)

子どもを含めた無差別殺傷事件への対策は、**熊谷知事の新たな千葉県総合計画ではどのように**網羅されていくのか。

横山尚典政策企画課長

犯罪に至る原因は様々であるが、まずは**規範意識を有し、家庭や社会から孤立することなく、責任ある行動が取ることが**できる人間に成長できる環境づくりが大切であると思われる。そうした意味で、新たな総合計画の原案では、子育てや教育の分野において、「生命を大切に

コロナ禍における、女性の就労への支援について

河野としのり県議

※



熊谷知事に再質問・再要望する河野としのり県議

緊急事態宣言が出された直後の令和2年、全国で仕事を失った男性は35万人であったのに対し、**女性は倍以上の74万人**でした。また、自殺者の数も令和2年の10月は令和元年の同月に比べて男性が**25.0%増**、女性が**90.8%増**と、又令和2年の12月では令和元年の同月に比べて男性が**6.7%増**、女性が**28.8%増**と自ら命を絶つ女性が増えまし

健全育成として、「様々な悩みを抱える子供や若者等からの相談への対応」「インターネット上のトラブルから青少年を守るためのネットパトロールの実施」「少年の規範意識の向上を図るための非行防止教室の開催」などに取り組むこととして

河野としのり県議

要望ですが、多分野にわたる取組をまとめ企画するのが総合企画部の使命です。これら事件の自己否定に基づく拡大自殺としての無差別犯罪の対策を総合的に考えて行って欲しい。取り上げる課題は多岐にわたる。今の社会の価値観から一時でも逃避できるものに向かう衝動、デジタル仮想現実のゲーム依存、止められない万引き、窃盗、盗撮、痴漢、無差別殺傷事件など、様々な依存症的な行動。こつこつ**自暴自棄でどこに足を置いて良いか分からない若者を、千葉県として立て直し救うようなことを総合計画に入れて欲しい。**



た。「千葉県男女共同参画白書」によれば、**本県の働く女性のほぼ6割がパートやアルバイト等の「非正規の職員や従業員」**である。新型コロナウイルス感染症の影響は特に**女性の非正規労働者、母子家庭を直撃**しています。

県では女性や中高年齢者の再就職等をサポートする為に「千葉県ジョブサポートセンター」事業を展開していますが、女性の就労支援、職場環境改善に向け、「千葉県ジョブサポートセンター」の取り組みや、「働き方アドバイザー」の派遣による出張相談等の取り組みをより充実、強化すべきではないか。

熊谷俊人知事

(※河野としのりが質問を作成し会派代表登壇者が代読した分も含む)

県では、ジョブサポートセンターにおいて、個々の女性のニーズに応じた就労支援を行うとともに、働き方アドバイザー等の専門家を企業に派遣し、育児休業制度の充実など、女性が安心して働き続けられる職場環境づくりに努めています。また、今年度からは、感染症の拡大により来所が難しくなった方に向け、出張相談会を実施すると

ともに、オンデマンド配信による再就職支援セミナーも実施しております。今後とも、**女性の就労支援や職場環境の改善に向けた取組を実施し、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援**を行ってまいります。

河野としのり県議

休業要請や、解雇によって職を失うことにより女性の貧困化が進んでいます。しかも、企業や雇用主が手続きをしなければ、休業補償も雇用調整助成金ももらえない。今休んでいるだけなので失業給付も手続きできないし、そもそも入っていない。子育て家庭や母子家庭の女性、つまりお母さんたちの中にはコロナ禍によって追い詰められた環境に置かれている方々が増えているのが現状であります。**女性の就労への支援策の充実**は女性の命と生活を守るための喫緊の課題であります。

令和2年は89.8万人の非正規雇用が減り、そのうちの**66%の59.4万人が女性**でありました。令和3年は26.8万人の非正規雇用が減り、そのうちの**50%の13.3万人が女性**でありました。解雇が容易な、非正規労働の女性たちがコロナ禍で、失業に追い込まれました。また、令和2年7月から9



答弁する熊谷俊人知事



月までの3か月の間には、シングルマザーの完全失業率も大幅に増加し、配偶者と子どもがいる女性と比べてシングルマザーの完全失業率が、令和2年9月には3ポイント高い結果でありました。その事もあり多くの女性が自らの命を絶たねばならない状況となっております。女性の就労への支援策の充実、女性の命と生活を守るための喫緊の課題であり、県におかれましては、「千葉

美浜区の花見川に掛かる県営水道の水管橋の漏水事故防止について



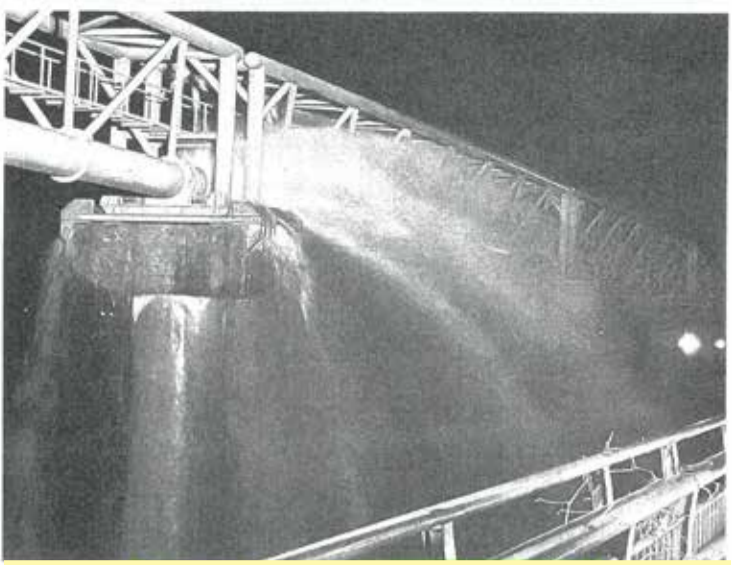
県「ジョブサポートセンター」等、今やっている事、今できる事を、着実に進めて頂き、またジョブサポートセンター事業のみならず**女性の命と生活を守る様々な施策を充実するよう**、要望致します。

河野としのり県議

令和3年の10月7日に地震の影響もあり、県営水道の**養老川水管橋の継手から水が噴き出し漏水事故**が起こった。企業局によると同じような継ぎ手でボルト腐食など**漏水の可能性がある箇所は県営水道で49橋、工業用水道で36橋**あるとのこと。現在緊急性の高い箇所から順次ボルトの交換を実施していると聞いています。そこでお伺いします。養老川水管橋の事故を踏まえ、今後県営水道及び工業用水道では、**計画的な水管橋の維持管理をどのように取組んでいくのか。**

六澤幸男副知事

県企業局では、水管橋を含む水道施設の維持



水管橋の破損による漏水
(市原市養老川 令和3年10月8日午前撮影)

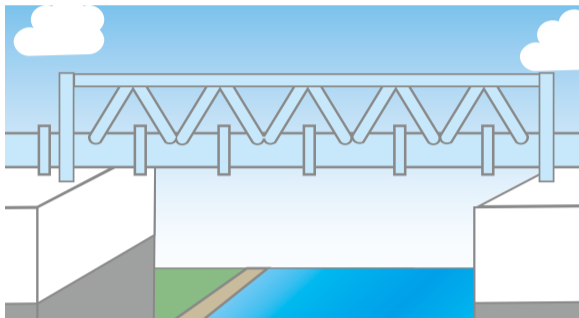
管理について維持管理マニュアルを策定し、定期点検や修繕を実施している。養老川水管橋では、**継手部のボルト腐食が原因で漏水事故**が発生したため、同様の腐食が懸念される水管橋について、より耐久性に優れたボルトに交換するなどの緊急修繕工事を実施し、その際に、腐食状況や設置環境等を調査してまいります。この調査結果や経過年数などを踏まえ、水管橋継手部の管理方法を検証した上で、維持管理マニュアル等の改善を図り、**計画的な水管橋の維持管理を実施**してまいります。

河野としのり県議

千葉市美浜区にも流れる花見川に架かる**水管橋も養老川水管橋と同じような継手**を使用しているのか。

佐藤祐明給水課長

養老川水管橋と同様の継手を使用しております。



花見川水管橋：真砂方面



花見川水管橋：ベイパーク・幕張給水場方面



花見川水管橋：継ぎ手部分

花見川水管橋の継ぎ手について詳しく説明を受ける河野としのり県議



佐藤祐明給水課長

県営水道では、JIS規格に適合した、鋼鉄製、ダクタイル鋳鉄製、ステンレス製のボルトを使用しております。水管橋などには、主に鋼鉄製のボルトを使用しております。ボルトの頭部などの腐食が進行している場合には、耐久性に優れた亜鉛メッキボルト等に交換するなどの修繕を実施しているところ

河野としのり県議

水管橋の塗装の頻度、メンテナンスはどう考えているのか。

佐藤祐明給水課長

水管橋のボルトを含めた塗装修繕ですが、定期点検において、塗装の劣化状況を調査し、5年程度を目安に、まず部分的な塗り替えを行います。

更に、全体的に塗装の劣化が生じている場合は、20年から25年を目安に水管橋全体の塗り替えを行っているところです。

河野としのり県議

千葉市美浜区にも流れる花見川に架かる水管橋の継手は、養老川水管橋の継手と同様というが、現地で見ると継ぎ手のハウジングのボルトナットは2列になって養老川の水管橋の継手と異なるが。

関矢義明給水課主幹

直径1350mm以上の大きな配管は継ぎ手のハウジングの固定を二重に且つ多くのボルトナットで確実に固定している。

河野としのり県議

水管橋で使用しているボルト・ナットの材質はなにか。

また、メッキ等は施されているのか。

JR京葉線など列車の防犯対策、非常通報、非常ドアコック、防犯カメラ、ホームドアはどうなる

河野としのり県議

列車の防犯対策についてお聞きします。令和3年10月の末に京王線で起きた刺傷事件では、ライターオイルがまかれ火災も発生したため、乗客が非常ボタンを押して運転士と車掌に通報したが、車内はパニック状態で通話システムを使って話す事が出来ず、防犯力

メラもなく、状況把握が出来なかった。また、電車が減速して最寄りの駅についた際、乗客が避難しようとする中、「非常ドアコック」を緊急停止の1分前に操作した為、運転士がアケル操作をできなくなり、特急電車の停車位置が本来より約2メートル後方になってしまいました。そのため、乗客

が線路へ転落する恐れがあり、車掌がドアを開けない判断をしたことから、ドアが開かず、約300人の乗客がパニック状態で、窓の隙間や非常用ドアコックを操作して手動で開けたドアから避難した。こうした経験を活かして、千葉県の鉄道においても同じ危険が生じることがあってはなりません。そこで伺います。列車内における傷害事件の発生を受け、国は、どのような対策に取り組んでいくのか。

六澤幸男副知事

国では、事件の発生を受け、「乗務員に対して、複数の非常通報装置が使用された際には、安全な避難誘導を行うため、当該列車及び周囲の列車を停車させる」ということ、又「駅停車時にホームドアと列車のドアがずれている場合でも、双方のドアを開ける」ということなど、乗客の安全確保の徹底を図るよう示した。利用者に対しては、「乗車する際に非常通報装置の位置を確認するとともに、非常時には、装置を躊躇なく使用するよう」と呼びかけていくこととしております。さらに、車内防犯カメラの設置基準の見直しや費用負担のあり方、非常用ドアコックの案内方法などについて、検討を進めています。

河野としのり県議

県は、事件発生時に乗客が取るべき対応について県民にどのように周知していくのか。



列車の防犯対策

六澤幸男副知事
鉄道事業者においては、駅構内へのポスターの掲示や車内放送等により、不審者・不審物を発見した際の駅係員等への通報、非常事態発生時の非常通報装置等の使用などを

河野としのり県議
呼びかけている。県としても、県庁ホームページの活用などにより、県民に対し、注意喚起を図ってまいります。

河野としのり県議
JR京葉線の車内には「防犯カメラ作動中」の表示があり、車両内防犯カメラはよく見かける。これはテロ事件ばかりでなくスリや痴漢にも抑止効果があると思うが、車両内防犯カメラの設置義務化の検討状況はどうか。また、県として、防犯カメラの設置を推進すべきと思うがどうか。

豊田和広交通計画課長
これから新造される車両については、国において義務化の検討がされていますが、現在動いている車両への防犯カメラの設置義務化については、未定です。

河野としのり県議
県としては、鉄道の事件・事故防止に向けた安全対策は重要であると認識しており、車内防犯カメラの設置など、セ

河野としのり県議
JR京葉線のホームドアは、2032年度末までに路線全駅において整備されると、JRのホームドア整備計画ではなっているし、県もそう議会答弁してきた。

河野としのり県議
しかし、高齢者や障害者等の利便性、安全性の向上の為に、さらに県としても早期実現を働きかけるべきではないか。

豊田和広交通計画課長
県としては、視覚障害者の利用が多いなど特殊事情のある駅についてはホームドアの早期設置が望ましいと考えていることから、引き続き市町村等と構成するJR線複雑化等促進期成同盟を通じ、JRに対して早期設置を粘り強く働きかけてまいります。



列車の防犯対策について
交通計画課長と話す河野としのり県議

河野としのり県議
小田急線及び京王線の事件の後、その都度、文書にて、県内の鉄道事業者へ働きかけを行ったところ。今後も、国の動向も注視しながら、県民が安心して鉄道を利用できるように、事業者へ働きかけてまいります。

